



野々市町文化協会 だより

第7号

発行人 野々市町文化協会
谷下通夫
事務所 野々市町中央公民館内
本町2丁目1-20
(0762) 48-0521

ごあいさつ



野々市町文化協会
会長 谷下通夫

ろであります。

協会の諸先輩方々をはじめ町民各位の皆様のご理解、ご尽力により、加盟団体も設立当初の九団体から十四団体へと増え、文化協会としての基盤も逐次整備されて参りました。ここにあらためて皆様のご努力に対して深く感謝を申し上げる次第であります。

物の豊かさから心の豊かさへの時代背景の中で、各種文化団体の連合体である文化協会の活動そのものが町の文化向上、住民福祉の向上、強いては「心の豊かさ」に大きく寄与し得るも

責の重大さを痛感しているところ

のであると考えます。

それだけに加盟団体間の連携を密にし、より幅広く、より質の高い活動ができるよう努力が必要であり、私も会長としてこん身の努力を傾注する所存でございます。

協会の運営にはなんと申しましても協会の御協力、御支援が大きな原動力となるのであります。

町民の皆様方をはじめ、町当局並びに御関係の方々との深い御理解と御支援をお願い申し上げます。協会へのより温かい御助成をお願い申し上げます。あいさつと致します。

平成6年度主な事業計画

日時	事業名	場所
7月11日	視察研修会	七尾市
7月15日	文化協会だより発行	全戸配布
7月17日 ~24日	野々市町美術展後援	フォルテ
8月1・2日	野々市じょんからまつり協賛	野々市小周辺
11月3日	文化協会表彰式	フォルテ
10月30日 ~11月20日	野々市町民文化祭協賛	中央公民館・フォルテ
1月7日	新春書きぞめ大会後援	中央公民館
1月中旬	懇親パーティ	フォルテ
3月下旬	花と緑ののいち 椿まつり'95	フォルテ・ふれあい会館

〈町花木「椿」選定20周年記念〉

花と緑ののいち 椿まつり'94

「縄文の夢
じょんから
椿の里」
をテーマに多彩に開催

「花と緑ののいち椿まつり'94」(野々市町・野々市町文化協会主催)が三月十九日から二十一日までの三日間、文化会館とふれあい会館を会場に開かれ、椿を題材とした作品展示会や、花と緑の市、特産物即売コーナーなどに多数の人が訪れ、にぎわいました。

また、二十日



堅穴式住居を背景に、町民手づくりの縄文式土器に飾られた椿の切り花

には椿まつり協賛の東京室内管弦楽団ファミリーコンサート、二十一日には椿芸能祭が開かれ、楽しいステージが繰り広げられました。

新役員と今年の事業計画

椿愛好会

平成六・七年度の役員が決まりました。女性を中心にして、生活に密着した活動を計画しています。

- 会長 浦尾 亮弥
- 副会長 中島 康雄
- 塩田 卓
- 北 時子
- 高峯比呂子
- 遠藤 康子
- 山本喜久恵
- 山田 貞子
- 西川 悦子
- 佐久間由孝
- 佐久間由孝



今年には挿し木講習会、研修旅行の他に、「椿」を題材にした手芸などの各種講習会、展示会や、近隣の椿展見字等を計画しています。

人との「輪」を求めて

民謡協会

野々市町民謡協会も発足して六年近くになりました。

この協会は地域の公民館を中心とした野々市中央・富奥・郷・押野・丸木の各教室が有り、現在九十五名と年々会員も増えまして大変うれしく喜んでおります。

民族の芸能文化を代表するともいえる民謡、永い歳月を歌いつがれてきた歌というものは人々の心に訴える何かをそなえていると言ってもらい、と思います。

この民謡を大切に又愛し、後世まで正しく継がれることを願い、その活動を通し人々とのつながり「輪」



を積極的に広げて行きたいと願っています。

初心者の方でも歓迎いたします。

民謡に興味のある方は、いつでもお気軽にお越し下さい。お待ちしております。

楽しきかな「瞬間芸」

音楽文化協会

様々なジャンルの音楽愛好者から成る私達音楽協。昨年から今年にかけて「大正琴」、「サクソフォンアンサンブル」の2つのサークルが新たに加わり、協会全体一層の盛り上がりを見せています。

音楽とは数ある芸術の中でも代表的な「瞬間芸」です。ステージに立つ以上、本番の一瞬一瞬にそれ迄の練習の成果の全てをかけて一つ一つの「音」を発生しながら、奏者と観客が一体化している芸術。会員各人、その一瞬の快感を味わう為に日々努力しています。

碁一緒にやりましょう

囲碁協会

碁は、上手下手に関係なく、楽しいゲームだし、趣味でも最高といえますね。

碁の対局を行うことは、児童では思考力の養成を、動きのある職場では適切な決断力とストレス解消に、そして老いてはボケ防止に役立ちますよ。中央公民館での定例会(毎週土曜日の晩と日曜日の午後)にいらっしやい、お待ちしております。

碁をやるうかなと思つた人から県内トップ級までと、碁の力の差があつても碁一緒に楽しんでおります。会



吟行と じよんから まつり俳句など

俳句協会

次のような活動を行います。
(1) 吟行句会(すでに六月に鳴和滝、二保紙漉の里・本泉寺へ吟行。

LOOK 団通信

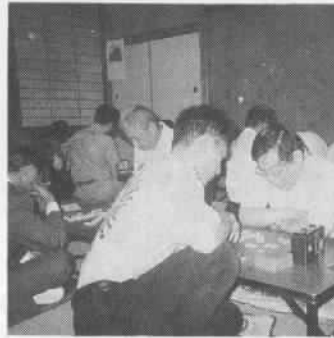


大菊についての 問い合せは...

菊花協会

(2) じよんからまつり俳句大会(俳句愛好者にとって見逃せないイベントです。八月一日・二日フォルテ横の会場に投句箱を設置し、会員はもとより学生・生徒・児童と広く俳句を募集します。審査のうえ、町長賞初め多数の賞品を差し上げます。奮って佳句を投句しましょう。
(3) その他(新年句会、文化祭、椿協会行事には多数参加して、俳句の上達と親睦を深めましょう。俳句で心を豊かに。

野々市町菊花協会は皆様方のご支援を得て年ごとに、苗の分譲や会員の数も増加し、連絡を密にするために六班に編成分割しました。富奥地区南部は橋演志さん、北部は東出富二雄さん、本町地区は末井庄太郎さん、押野地区は山田昭三さん、御経塚及び郷地区は森村俊夫さん、その他地区は綾間義明さんとしましたので、何んなりとお気軽に電話ください。九月には草丈の短い福助とダルマの鉢植え苗分譲をおこないます。事務局 綾間義明(49-3618)



将棋を通じて親睦の輪を

将棋協会

プラスチックの駒にゴムマットの将棋盤、駒を打つとパシッとやや鈍い音がします。県下にその名をとどろかす将棋の猛者(もさ)も、や々と駒の動かし方を覚えた少年も使う道具は同じです。

野々市町将棋協会が発足して十年を経ました。はじめ十人前後だった会員も現在百人を数え、石川県最大の将棋サークルに成長しました。その中から二人の県名人の誕生です。

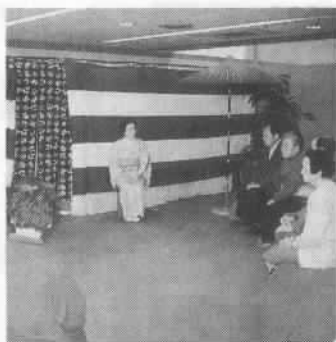
将棋に興味のある人、将棋を始めてみようと思う人は、木曜日の午後7時に野々市町中央公民館まで来てください。きっと好敵手に出会えると思います。

心の豊かさを求めて

茶道協会

茶道協会も発足出来一年有余、この間町のイベント茶会を通じ、町民の多大の御参加をいただきありがとうございます。人生八十年の今日私達の生き方も

大変に変わり、これからは心の豊かさを求めていく時代ではないでしょうか。お茶は一つの茶碗、一幅の軸を通して古きを知り又、新しい現代感覚を知る事が出来ます。一碗のお茶を通して人との出会いが生まれ楽しい話もでてまいります。一つのもの、見方、考え方を肌で感ずる事の出来るのがお茶であります。今後は、協会独自の事業も計画中であり、より充実したものにしたいと思っております。茶道協会は皆様の協会でございませう。いつでも気軽に御入会下さい。心からお待ちしております。



個性あふれる第九回花展

華道協会

華道協会第九回花展が平成五年九月十一日から十二日まで野々市町文化会館で開催され、小ホール一ぱいに大作・中作・普通作と展示。当協会の「祭典」として定着した花展も回を重ねること九回目。

今年には会場設営に工夫をこらし、例年の雰囲気とは違ったものとなりました。日頃の研鑽の結果が見事に展示され、作品にはいずれも個性や特色がよく表われており、協会展な

らではの雰囲気は満ちあふれていました。期間中の入場数は一、一〇〇人と年々入場者が上回り、華道愛好家が増加していることを物語っている様に感じられます。

十二日午後六時から懇親会を開き、館長が「来年は第十回展なので今後一層精進して地域文化への貢献の一つとしてがんばってもらいたい」と挨拶し、続いて無量井先生の乾杯で開宴、和やかに歓談しました。

後世に伝えよう 野々市じよんから節

野々市じよんから節保存会

郷土芸能の「野々市じよんから節」を大切に受け継ぎ、後世に伝えることと広く町外にPRするための活動を続けています。

「野々市じよんからまつり」総踊りでは、囃し方や舞台踊りも務めています。また、町内外の各種事業等からの出演依頼も多数あります。入会を希望される方は、踊り、唄、三味線、笛、太鼓と希望される部門を申し出ください。申し込みは中央公民館へ。



盆栽でゆとりを

盆栽愛好会

玄関に盆栽が一鉢あると、その家の心豊かさが感じられ、盆栽を楽しむことで、心のゆとりと潤いが得られます。高価で大きな盆栽だけが、盆栽ではありません。鉢植え程度の木から、山草野草と幅が広いですが、まず入会して、一鉢を持つことから始めましょう。毎月の定例会では、作業の勉強会と手持鉢の交換会を行っています。また、研修旅行もあり、展示会は、六、十一、三月に行っております。入会を待っております。



軽スポーツとして 社交ダンスを

社交ダンス愛好会

会員六十余名、毎週火・金曜日に中央公民館に集い、プロの先生の御指導で、心地よい汗を流しております。

年間行事として、温泉旅行(会員相互の親睦)、チャリティパーティー



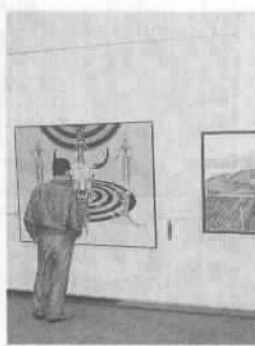
(収斂金は町の福祉へ)、文化祭、椿祭り(技術発表)、近郊サークルとの交流等と活動しております。また来年は十年目に当り、今から盛沢山の行事に会員一同、燃えております。私達ダンス愛好会員は、ダンスはスポーツ感覚で、軽快なリズムに乗って、いつまでも若々しく、楽しく楽しくステップをノをスローガンに、今後も活動して行きたいと念じております。



地域の文化 振興のために

美術協会

私達美術協会は、町文化協会発足当初から参加し、年々会員も増加し、少しでも地域の文化を高めるのに役立つ時を過しました。



私達美術協会は、町文化協会発足当初から参加し、年々会員も増加し、少しでも地域の文化を高めるのに役立つ時を過しました。

氷見の「さしまた大椿」 を見学

読書会連絡協議会

単位読書会が集い「野々市町読書会連絡協議会」として発足して八年を迎えました。

読書は工芸展や生花展を見るときは一寸異なり、与えられた本をよみ、自分の感想や体験などを交えて色々と話し合い、本に出てくる人物についても意見を言い合いますので、非常にのびのびとした心豊かになり、互に信頼が生れ、文学の世界へと迫っていくような気持ちになります。四月に富山県まで足を延し、樹令八百年も経た「さしまたの大椿」を見学し、ピチピチしたお魚で昼食を取りました。



野々市町文化協会表彰

文化活動に功績の四氏を表彰

平成五年度文化協会表彰式が、十一月三日（文化の日）、文化会館で挙行され、次の四氏に表彰状と記念品が贈られ、それぞれの功績が讃えられました。（敬称略）

町文化協会表彰

◆文化振興賞◆

荒川 采子（清金三丁目）
町美術協会会員として、多年にわたり後進の指導に尽力。
山本 泰治（本町一丁目）
町囲碁協会設立より多年にわたる会の進展と囲碁の普及に尽力。

◆文化奨励賞◆

湯川 好晴（押野五丁目）
全国アマチュア王将大会北陸地区大会優勝。県代表として全国大会出場。
矢野 正明（押野一丁目）
少年少女囲碁大会全国大会中学生の部に県代表として出場。

野々市町表彰

◆芸術文化振興賞◆

二又 米造（粟田六丁目）
第四十回記念日府展の最高賞日府賞受賞、美術協会の運営や文化協会設立に尽力され、町の文化振興に貢献

◆教育委員会表彰◆

山田 一郎（中林三丁目）
社会教育振興表彰



文化協会加盟団体一覧

団体名	代表者	設立年	会員数
1 野々市市よんから館保存会	村上 一夫	昭和35年	六〇名
2 菊花協会	高橋外茂男	36年	五七名
3 椿愛好会	瀬尾 亮弥	49年	八〇名
4 美術協会	二又 米造	52年	七〇名
5 音楽文化協会	宮岸 洋二	52年	一〇名
6 華道協会	館 惣吉	53年	一〇名
7 盆栽愛好会	向田初三郎	54年	四六名
計			四六名
団体名	代表者	設立年	会員数
1 囲碁協会	魚住 雅一	57年	一五〇名
2 将棋協会	船谷久太郎	58年	二七名
3 読書会連絡協議会	北村 倫子	61年	四三名
4 社交ダンス愛好会	紺川 善作	61年	五〇名
5 民謡協会	黒保 竹吉	平成元年	九一名
6 俳句協会	金丸 直治	3年	六二名
7 茶道協会	吉田 郁子	5年	一八五名
計			一三二名



また、協会の表彰式に先立ち、野々市町及び野々市町教育委員会表彰が行われ、次の方々が受賞されました。

町盆栽愛好会の基盤を築き、多年にわたり会員の指導と会の振興、発展に貢献。
鳥崎 文雄（押野一丁目）
菊づくりと花いっぱい運動の推進に努められ、町菊花協会の振興、発展に貢献。
中島 康雄（太平寺一丁目）
多年にわたり、郷土の歴史・文化・産業等の調査研究、記録に努められるとともに、町花木椿の研究と普及に貢献。
野々市町読書会連絡協議会
読書の普及に努められ、(財)読書推進運動協議会より全国表彰される。

平成六年度野々市町文化協会役員

職名	氏名	所属団体	職名	氏名	所属団体
顧問	西尾 修 山田 清司 粟 貴章 東谷 弘 飯森 又郎 松本 佐一 米林 勝二 谷下 通夫		常任理事	小林 孝次 金丸 直治 吉田 郁子 粟 よし子 野々市 利男 丸山 順孝 若島 翠節 小柳 幹男 魚住 雅一 大島 昇 亀井 政子 村上 一男 黒保 竹吉 奥村 誠一路 安田 光男	民謡協会 俳句協会 茶道協会 よんから館保存会 美術協会 音楽文化協会 華道協会 盆栽愛好会 囲碁協会 将棋協会 読書会連絡協議会 社交ダンス愛好会 民謡協会 俳句協会 茶道協会 菊花協会 椿愛好会
参与	二又 米造 館 惣吉 館谷久太郎 宮岸 洋二	美術協会 華道協会 将棋協会	監事	綾間 義明 中島 康雄	
会長	谷下 通夫		幹事	北 清志 山口 良 大久保 邦彦	
副会長	二又 米造 館 惣吉 館谷久太郎				
理事長	山口 正昭	よんから館保存会			
常任理事	高橋外茂男 瀬尾 亮弥 山本 晃彦 向田初三郎 源野 辰一 北村 倫子 紺川 善作	菊花協会 椿愛好会 音楽文化協会 盆栽愛好会 囲碁協会 読書会連絡協議会 社交ダンス愛好会			